

山陰地方における近世陶磁器の流通

佐伯 純也（米子市教育文化事業団）

1. はじめに

山陰地方は、中国地方の北部日本海沿岸地域一帯の鳥根県、鳥取県の範囲に相当し、その海岸線の延長距離が250kmにも及ぶ長大な地域である。

この地域では、これまで近世遺跡の調査事例が少なく、肥前陶磁器の研究は遅れていたが、石見銀山遺跡や米子城跡などにおいて調査事例が蓄積されており、近年では松江城下町遺跡や鳥取城跡でも発掘調査が実施されるようになるなど、近世考古学に対する関心は徐々に高まりつつある。

2. 山陰地方における肥前陶磁器の様相

鳥根県における初期の肥前陶磁器の様相は、胎土目積段階の資料が石見銀山遺跡や富田川河床遺跡、松江城下町遺跡で確認されている。その中でも松江城下町遺跡は、築城開始時期が1607年にほぼ限定される資料として重要である。ここから、1633年までに埋没したと推測される最下層の遺構面から見つかった肥前陶器は、胎土目積段階の資料が主体であり、砂目積段階の資料がほとんど含まれていないことが判明している。また、月山富田城の城下町遺跡である富田川河床遺跡では、洪水で埋没した砂層内から「寛永21（1644）年」銘の木簡が出土しており、これと共伴する遺物として、砂目積の唐津皿とごく少数の伊万里焼が出土しており、1640年代に至っても肥前磁器の占める割合は低かったことが窺える。

鳥取県内では、16世紀末に築城された米子城下町遺跡の上級武士の屋敷跡と考えられる33次調査地点から、礎石建物跡に伴って、瀬戸美濃系陶器や備前焼の建水、唐津焼の皿などが検出されており、中世末から近世初期にかけてのものと見られる資料が得られている。また、米子城下町遺跡や富田川河床遺跡では、李朝系陶器の出土例が多く確認されており、築城開始時期が遅れる松江城下町遺跡との違いが認められる。

最近、山陰地方での様相が明らかになってきた陶器播鉢については、16世紀までは備前焼が中心となるが、17世紀以降には肥前播鉢が増加するとともに、山口県の須佐唐津の播鉢が出土するようになる。18世紀には関西系の播鉢に加えて、在地で生産された播鉢も見られるようになり、肥前播鉢のシェアは減少するものと考えられる。また、18世紀後半以降には、在地産陶器播鉢の点数が増加する。

壺・甕類は、17世紀前半以降に備前焼から肥前産の製品へと移り変わるが、18世紀以降には鳥根県西部地方で生産された石見焼系の製品が中心を占めるようになる。ただし、旧因幡国に属する鳥取市近辺では、越前焼の甕が多く搬入されており、鳥取県内でも因幡と伯耆では様相が異なる可能性がある。

3. 流通方法

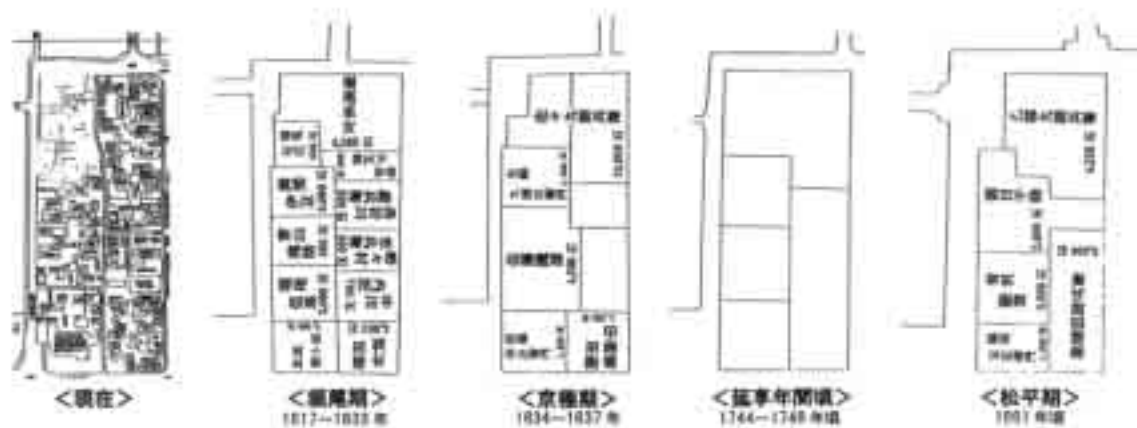
陶磁器の流通については、港湾流通に関する文献が少なく不明な点が多いが、山陰地方は山地から海岸線までの距離が短く、河川は急流となりやすい地形となっており、鳥根県西部の河川や出雲の斐伊川・神戸川水系を除くと、河川を利用した水運はあまり発展しなかったものと推測される。また、中世から近代まで山陰の主要な産品であった鉄の運搬には、牛馬が用いられており、陶磁器も牛馬を用いた陸上交通によって流通したものが多かったと推察される。



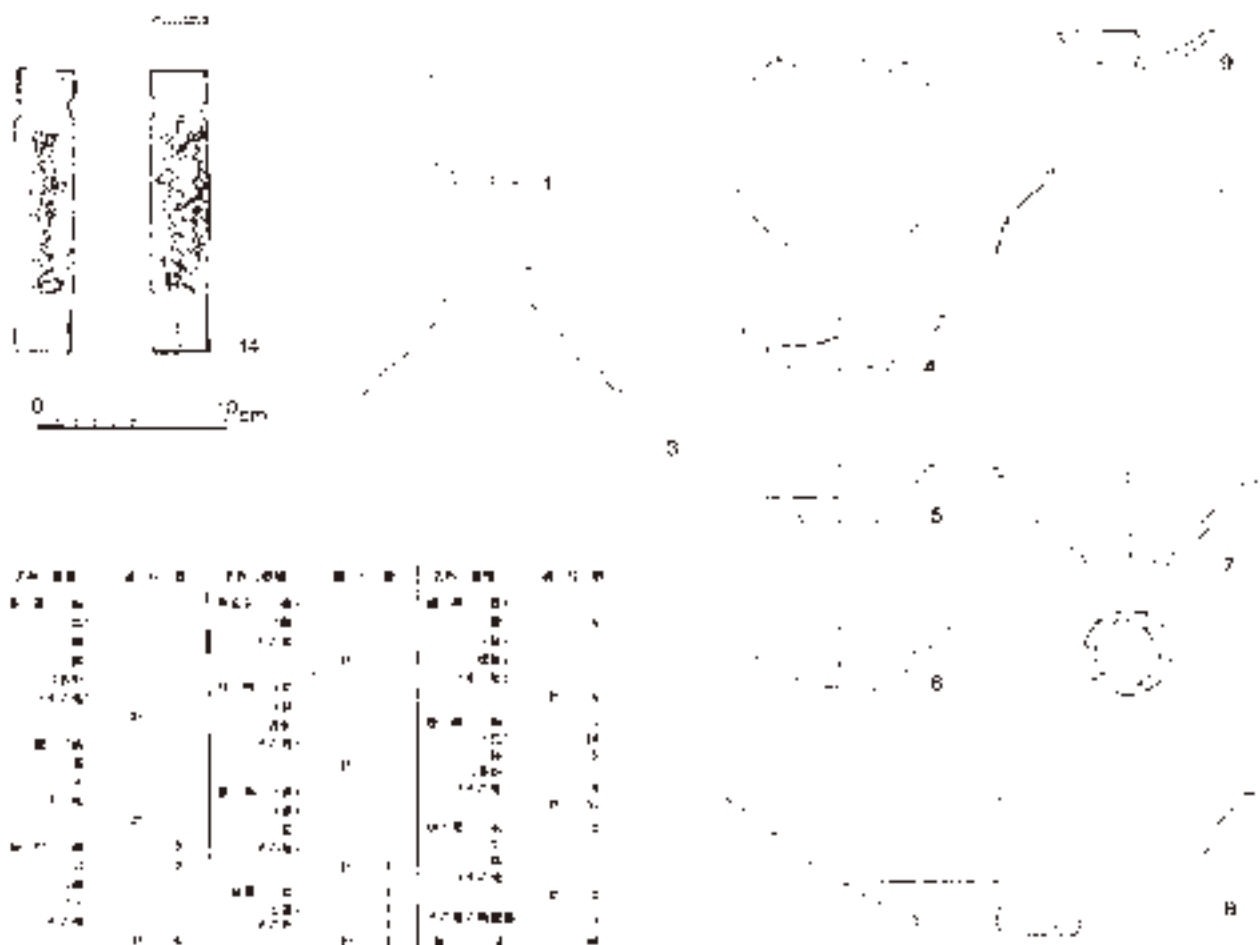
第1図 山陰地方の主な近世遺跡



第2図 松江城跡 調査地点



第3図 松江城下町（家老屋敷跡）の変遷図



第4図 富田川河床遺跡 砂層出土遺物

発掘調査 年次	調査 範囲	出土 品目	数量	出土 品目	数量
昭和 二 十 三 年	第一 区	土器 片	10	土器 片	5
昭和 二 十 四 年	第二 区	土器 片	15	土器 片	10
昭和 二 十 五 年	第三 区	土器 片	20	土器 片	15
昭和 二 十 六 年	第四 区	土器 片	25	土器 片	20
昭和 二 十 七 年	第五 区	土器 片	30	土器 片	25
昭和 二 十 八 年	第六 区	土器 片	35	土器 片	30
昭和 二 十 九 年	第七 区	土器 片	40	土器 片	35
昭和 三 十 年	第八 区	土器 片	45	土器 片	40
昭和 三 十 一 年	第九 区	土器 片	50	土器 片	45
昭和 三 十 二 年	第十 区	土器 片	55	土器 片	50
昭和 三 十 三 年	第十一 区	土器 片	60	土器 片	55
昭和 三 十 四 年	第十二 区	土器 片	65	土器 片	60
昭和 三 十 五 年	第十三 区	土器 片	70	土器 片	65
昭和 三 十 六 年	第十四 区	土器 片	75	土器 片	70
昭和 三 十 七 年	第十五 区	土器 片	80	土器 片	75
昭和 三 十 八 年	第十六 区	土器 片	85	土器 片	80
昭和 三 十 九 年	第十七 区	土器 片	90	土器 片	85
昭和 四 十 年	第十八 区	土器 片	95	土器 片	90
昭和 四 十 一 年	第十九 区	土器 片	100	土器 片	95
昭和 四 十 二 年	第二十 区	土器 片	105	土器 片	100
昭和 四 十 三 年	第二十一 区	土器 片	110	土器 片	105
昭和 四 十 四 年	第二十二 区	土器 片	115	土器 片	110
昭和 四 十 五 年	第二十三 区	土器 片	120	土器 片	115
昭和 四 十 六 年	第二十四 区	土器 片	125	土器 片	120
昭和 四 十 七 年	第二十五 区	土器 片	130	土器 片	125
昭和 四 十 八 年	第二十六 区	土器 片	135	土器 片	130
昭和 四 十 九 年	第二十七 区	土器 片	140	土器 片	135
昭和 五 十 年	第二十八 区	土器 片	145	土器 片	140
昭和 五 十 一 年	第二十九 区	土器 片	150	土器 片	145
昭和 五 十 二 年	第三十 区	土器 片	155	土器 片	150
昭和 五 十 三 年	第三十一 区	土器 片	160	土器 片	155
昭和 五 十 四 年	第三十二 区	土器 片	165	土器 片	160
昭和 五 十 五 年	第三十三 区	土器 片	170	土器 片	165
昭和 五 十 六 年	第三十四 区	土器 片	175	土器 片	170
昭和 五 十 七 年	第三十五 区	土器 片	180	土器 片	175
昭和 五 十 八 年	第三十六 区	土器 片	185	土器 片	180
昭和 五 十 九 年	第三十七 区	土器 片	190	土器 片	185
昭和 六 十 年	第三十八 区	土器 片	195	土器 片	190
昭和 六 十 一 年	第三十九 区	土器 片	200	土器 片	195
昭和 六 十 二 年	第四十 区	土器 片	205	土器 片	200
昭和 六 十 三 年	第四十一 区	土器 片	210	土器 片	205
昭和 六 十 四 年	第四十二 区	土器 片	215	土器 片	210
昭和 六 十 五 年	第四十三 区	土器 片	220	土器 片	215
昭和 六 十 六 年	第四十四 区	土器 片	225	土器 片	220
昭和 六 十 七 年	第四十五 区	土器 片	230	土器 片	225
昭和 六 十 八 年	第四十六 区	土器 片	235	土器 片	230
昭和 六 十 九 年	第四十七 区	土器 片	240	土器 片	235
昭和 七 十 年	第四十八 区	土器 片	245	土器 片	240
昭和 七 十 一 年	第四十九 区	土器 片	250	土器 片	245
昭和 七 十 二 年	第五十 区	土器 片	255	土器 片	250
昭和 七 十 三 年	第五十一 区	土器 片	260	土器 片	255
昭和 七 十 四 年	第五十二 区	土器 片	265	土器 片	260
昭和 七 十 五 年	第五十三 区	土器 片	270	土器 片	265
昭和 七 十 六 年	第五十四 区	土器 片	275	土器 片	270
昭和 七 十 七 年	第五十五 区	土器 片	280	土器 片	275
昭和 七 十 八 年	第五十六 区	土器 片	285	土器 片	280
昭和 七 十 九 年	第五十七 区	土器 片	290	土器 片	285
昭和 八 十 年	第五十八 区	土器 片	295	土器 片	290
昭和 八 十 一 年	第五十九 区	土器 片	300	土器 片	295
昭和 八 十 二 年	第六十 区	土器 片	305	土器 片	300
昭和 八 十 三 年	第六十一 区	土器 片	310	土器 片	305
昭和 八 十 四 年	第六十二 区	土器 片	315	土器 片	310
昭和 八 十 五 年	第六十三 区	土器 片	320	土器 片	315
昭和 八 十 六 年	第六十四 区	土器 片	325	土器 片	320
昭和 八 十 七 年	第六十五 区	土器 片	330	土器 片	325
昭和 八 十 八 年	第六十六 区	土器 片	335	土器 片	330
昭和 八 十 九 年	第六十七 区	土器 片	340	土器 片	335
昭和 九 十 年	第六十八 区	土器 片	345	土器 片	340
昭和 九 十 一 年	第六十九 区	土器 片	350	土器 片	345
昭和 九 十 二 年	第七十 区	土器 片	355	土器 片	350
昭和 九 十 三 年	第七十一 区	土器 片	360	土器 片	355
昭和 九 十 四 年	第七十二 区	土器 片	365	土器 片	360
昭和 九 十 五 年	第七十三 区	土器 片	370	土器 片	365
昭和 九 十 六 年	第七十四 区	土器 片	375	土器 片	370
昭和 九 十 七 年	第七十五 区	土器 片	380	土器 片	375
昭和 九 十 八 年	第七十六 区	土器 片	385	土器 片	380
昭和 九 十 九 年	第七十七 区	土器 片	390	土器 片	385
昭和 一 十 年	第七十八 区	土器 片	395	土器 片	390
昭和 一 十 一 年	第七十九 区	土器 片	400	土器 片	395
昭和 一 十 二 年	第八十 区	土器 片	405	土器 片	400
昭和 一 十 三 年	第八十一 区	土器 片	410	土器 片	405
昭和 一 十 四 年	第八十二 区	土器 片	415	土器 片	410
昭和 一 十 五 年	第八十三 区	土器 片	420	土器 片	415
昭和 一 十 六 年	第八十四 区	土器 片	425	土器 片	420
昭和 一 十 七 年	第八十五 区	土器 片	430	土器 片	425
昭和 一 十 八 年	第八十六 区	土器 片	435	土器 片	430
昭和 一 十 九 年	第八十七 区	土器 片	440	土器 片	435
昭和 二 十 年	第八十八 区	土器 片	445	土器 片	440
昭和 二 十 一 年	第八十九 区	土器 片	450	土器 片	445
昭和 二 十 二 年	第九十 区	土器 片	455	土器 片	450
昭和 二 十 三 年	第九十一 区	土器 片	460	土器 片	455
昭和 二 十 四 年	第九十二 区	土器 片	465	土器 片	460
昭和 二 十 五 年	第九十三 区	土器 片	470	土器 片	465
昭和 二 十 六 年	第九十四 区	土器 片	475	土器 片	470
昭和 二 十 七 年	第九十五 区	土器 片	480	土器 片	475
昭和 二 十 八 年	第九十六 区	土器 片	485	土器 片	480
昭和 二 十 九 年	第九十七 区	土器 片	490	土器 片	485
昭和 三 十 年	第九十八 区	土器 片	495	土器 片	490
昭和 三 十 一 年	第九十九 区	土器 片	500	土器 片	495
昭和 三 十 二 年	第一百 区	土器 片	505	土器 片	500
昭和 三 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	510	土器 片	505
昭和 三 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	515	土器 片	510
昭和 三 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	520	土器 片	515
昭和 三 十 六 年	第一百 四 区	土器 片	525	土器 片	520
昭和 三 十 七 年	第一百 五 区	土器 片	530	土器 片	525
昭和 三 十 八 年	第一百 六 区	土器 片	535	土器 片	530
昭和 三 十 九 年	第一百 七 区	土器 片	540	土器 片	535
昭和 四 十 年	第一百 八 区	土器 片	545	土器 片	540
昭和 四 十 一 年	第一百 九 区	土器 片	550	土器 片	545
昭和 四 十 二 年	第一百 十 区	土器 片	555	土器 片	550
昭和 四 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	560	土器 片	555
昭和 四 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	565	土器 片	560
昭和 四 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	570	土器 片	565
昭和 四 十 六 年	第一百 四 区	土器 片	575	土器 片	570
昭和 四 十 七 年	第一百 五 区	土器 片	580	土器 片	575
昭和 四 十 八 年	第一百 六 区	土器 片	585	土器 片	580
昭和 四 十 九 年	第一百 七 区	土器 片	590	土器 片	585
昭和 五 十 年	第一百 八 区	土器 片	595	土器 片	590
昭和 五 十 一 年	第一百 九 区	土器 片	600	土器 片	595
昭和 五 十 二 年	第一百 十 区	土器 片	605	土器 片	600
昭和 五 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	610	土器 片	605
昭和 五 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	615	土器 片	610
昭和 五 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	620	土器 片	615
昭和 五 十 六 年	第一百 四 区	土器 片	625	土器 片	620
昭和 五 十 七 年	第一百 五 区	土器 片	630	土器 片	625
昭和 五 十 八 年	第一百 六 区	土器 片	635	土器 片	630
昭和 五 十 九 年	第一百 七 区	土器 片	640	土器 片	635
昭和 六 十 年	第一百 八 区	土器 片	645	土器 片	640
昭和 六 十 一 年	第一百 九 区	土器 片	650	土器 片	645
昭和 六 十 二 年	第一百 十 区	土器 片	655	土器 片	650
昭和 六 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	660	土器 片	655
昭和 六 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	665	土器 片	660
昭和 六 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	670	土器 片	665
昭和 六 十 六 年	第一百 四 区	土器 片	675	土器 片	670
昭和 六 十 七 年	第一百 五 区	土器 片	680	土器 片	675
昭和 六 十 八 年	第一百 六 区	土器 片	685	土器 片	680
昭和 六 十 九 年	第一百 七 区	土器 片	690	土器 片	685
昭和 七 十 年	第一百 八 区	土器 片	695	土器 片	690
昭和 七 十 一 年	第一百 九 区	土器 片	700	土器 片	695
昭和 七 十 二 年	第一百 十 区	土器 片	705	土器 片	700
昭和 七 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	710	土器 片	705
昭和 七 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	715	土器 片	710
昭和 七 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	720	土器 片	715
昭和 七 十 六 年	第一百 四 区	土器 片	725	土器 片	720
昭和 七 十 七 年	第一百 五 区	土器 片	730	土器 片	725
昭和 七 十 八 年	第一百 六 区	土器 片	735	土器 片	730
昭和 七 十 九 年	第一百 七 区	土器 片	740	土器 片	735
昭和 八 十 年	第一百 八 区	土器 片	745	土器 片	740
昭和 八 十 一 年	第一百 九 区	土器 片	750	土器 片	745
昭和 八 十 二 年	第一百 十 区	土器 片	755	土器 片	750
昭和 八 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	760	土器 片	755
昭和 八 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	765	土器 片	760
昭和 八 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	770	土器 片	765
昭和 八 十 六 年	第一百 四 区	土器 片	775	土器 片	770
昭和 八 十 七 年	第一百 五 区	土器 片	780	土器 片	775
昭和 八 十 八 年	第一百 六 区	土器 片	785	土器 片	780
昭和 八 十 九 年	第一百 七 区	土器 片	790	土器 片	785
昭和 九 十 年	第一百 八 区	土器 片	795	土器 片	790
昭和 九 十 一 年	第一百 九 区	土器 片	800	土器 片	795
昭和 九 十 二 年	第一百 十 区	土器 片	805	土器 片	800
昭和 九 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	810	土器 片	805
昭和 九 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	815	土器 片	810
昭和 九 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	820	土器 片	815
昭和 九 十 六 年	第一百 四 区	土器 片	825	土器 片	820
昭和 九 十 七 年	第一百 五 区	土器 片	830	土器 片	825
昭和 九 十 八 年	第一百 六 区	土器 片	835	土器 片	830
昭和 九 十 九 年	第一百 七 区	土器 片	840	土器 片	835
昭和 一 十 年	第一百 八 区	土器 片	845	土器 片	840
昭和 一 十 一 年	第一百 九 区	土器 片	850	土器 片	845
昭和 一 十 二 年	第一百 十 区	土器 片	855	土器 片	850
昭和 一 十 三 年	第一百 一 区	土器 片	860	土器 片	855
昭和 一 十 四 年	第一百 二 区	土器 片	865	土器 片	860
昭和 一 十 五 年	第一百 三 区	土器 片	870	土器 片	865